



発行：風の松原に守られる人々の会 事務局：〒016-0805 秋田県能代市大手町3-38 成田憲太郎方 電話0185-52-6316

会設立からの歩み

今号には平成23年4月から7月までの活動を記録。
見出し番号は創刊号からの通し番号です。

159 平成23年度総会開催

年度始めに行われる総会は4月15日(金)に開催された。議長に佐藤幸雄さんを選出して議事を進行し



た。本年度の事業計画では、樹幹注入作業やニセアカシア萌芽除去作業のほか、新たに秋田県・浅内財産区・本会の3者で協定を結び、西山下地内で林床改良作業を行うことなどが提案され承認された。

例年、総会に来賓を招いていたが、今年度は役員改選が予定されていたこともあり、総会終了後に新役員が米代西部森林管理署、山本地域振興局、能代市役所に出向いて挨拶した。総会出席者21名。

役員改選で選出された新役員は、会長安井昭彦、副会長進藤日出男、桜田隆雄、幹事(事務局)成田憲太郎、小林勝平、佐藤修正、幹事(会計)鈴木あつ子、幹事大高一成、秋林弘道、小山佳代子、佐藤恒雄、佐藤浩嗣、山内滋、塚本祐吉、塚本健一、監査浅野ミヤ、伊藤昭子の各氏である。

160 市民ボランティア大会

例年5月に行われていた「風の松原を守る市民ボランティア大会」が今年は4月24日に開かれた。

今年は陸上競技場が改修中のため、開会式はいこいの広場で行われ、昨年より多い750人が参加して松の枯れ枝集めを行った。



台分の松枯れ枝が集められた。

作業は昨年までより範囲を広げ、地図の青線の部分で行われ、2トントラック32台分、10トントラック3

161 林床改良作業の3者協定締結

4月の総会で提案していた県、浅内財産区、本会の3者による「能代市海岸保安林内における林床改良の実施に関する協定」が5月17日に締結された。

林床改良の実施場所は港湾道路からロケット実験場に曲がった地点から衛生処理場付近までの南北100メートル東西20メートル(2000平方メートル)。



162 ニセアカシア萌芽除去作業

今年第1回目のニセアカシア萌芽除去作業を5月20日(金) 9:30から11:30まで日和山あづまや付近で実施した。参加した会員は15名。この2枚の写真は作



業前(左)と作業中(右)。写真で旗の付近に黄色く見えるのは今春植え直したクロマツ苗の保護筒である。第2回目の萌芽除去作業は7月15日(金)、健康づくりのみちNo.11地点付近で実施された。参加者は8名。

163 風の松原連絡協議会

平成21年1月から22年3月まで開催された「風の松原保護検討協議会」のあとを受け、「風の松原連絡協議会」が設立されることになった。

能代市から本会に対して委員の推薦依頼があり、安井昭彦・浅野ミヤ両氏が委員に就任した。この協議会は3月29日、5月26日、6月28日、8月2日とこれまで4回開催され、その内容は本会の正副会長事務局会議で報告されているが、北羽新報紙上でもその都度報道されているので、本紙では省略しました。

164 「林床改良作業」動き出す

前ページ(161林床改良作業の3者協定締結)で紹介した林床改良作業の第1回目が6月10日(金)、第2回目が6月21日(火)に行われた。参加者は第1回目は本会会員、山本地域振興局、林退協の方々も合わせ50名ほど参加したので、秋田魁新報や北羽新報では大きく報じていた。



きく報じていた。

第2回目は他の行事と重なったため参加者は18名。

作業内容は、松原の機能や景観を守るための下草・落ち葉除去作業。膝の高さまで伸びていた下草を丁寧に抜き取っていた。

第1回目は半分程がきれいになった。第2回目は人数は少なかったが、作業に慣れてきて残り50メ

ートルをやり遂げることが出来た。



2回目の作業を最後まで頑張った人たち

165 第3回林床改良作業

7月1日(金)9:30から3回目の林床改良作業が行われた。今回の作業はこまざりを使った「松葉掻き」。



6月10日と21日に作業した跡には雑草が生え始めていたが、こまざりを使って松葉をかき集めた。2時間の作業で100メートルの範囲を終え、集めた松葉の前で終了の挨拶。第3回目の参加者は15名。

166 「能代砂防林の300年」

これは浅野ミヤさんが北羽新報に5月25日から不定期に連載している文章のタイトルです。

浅野さんはこの原稿を1月中旬から書き始め、ようやく書き上げて写真の整理に取りかかった時に3月11日の大震災になった。陸前高田市の「高田松原」の防潮林が巨大津波で壊滅したことで作業が2か月も中断したそうです。

この連載は8月13日で13回目となっているが、浅野さんのお話では連載終了は9月末になるかもしれないとのことでした。

能代砂防林の300年
浅野ミヤ

167 「風の松原先人植栽300年祭」に全面協力

本会では6月2日、24日、29日に臨時役員会、8月19日に定例役員会を開き、林床改良作業の作業日程、本会発足10周年記念事業、会員研修等を検討した。

10周年記念事業案では開催日を9月25日に決定、事業内容を「森の中の小さな音楽会」、「森と語り合う散策会」、「記念資料作成」等として具体的な準備に取りかかった。その後クロマツ植栽300周年記念事業の検討委員会(佐藤浩嗣委員長:本会幹事)が開かれ、実行委員13名には本会の安井会長と進藤副会長も選ばれた。様々な経緯はあったが、開催日が9月25日(日)に決定し、「森の中の小さな音楽会」「組パネル展」等が取り入れられ、本会として全面協力することとした。そのため本会の10周年事業については見直し、会員には後日連絡することになった。